

六本木三丁目児童遊園周辺地区 環境整備懇談会ニュース

第3号

令和4年3月発行 港区

春陽の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より港区のまちづくりへご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

港区では「六本木三丁目児童遊園周辺地区」の治安の改善を図るとともに、安全・安心な環境整備と新たなにぎわいの創出を目指し、検討を行っています。

そこで、去る3月15日に地元の皆様のご意見を伺う「六本木三丁目児童遊園周辺地区環境整備懇談会（以下、懇談会）」の第3回を開催しました。

本紙では、懇談会のご報告と当日いただいた主なご意見をご紹介します。

今後も懇談会ニュースにて、環境整備に向けた検討状況をご報告して参りますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 第3回懇談会開催のご報告

第3回懇談会は、「再整備の方向性について」というテーマを基にご議論いただきました。当日はたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。裏面にて、当日いただいた主なご意見をご紹介します。

今回は、右のとおり、公衆トイレの扱いと本地区の再整備に関する考え方をまとめました。

次年度も懇談会を継続し、より具体的なこの地区の再整備内容や管理運営について、議論を深めていきたいと考えておりますので、引き続き、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

開催概要

- 日時：令和4年3月15日（火）18:30~20:30
- 場所：麻布区民協働スペース
- 出席者：7名（オブザーバー3名）



公衆トイレの扱い方・再整備に関する考え方(第3回懇談会を踏まえた内容)

- ①現在の当地区の印象である4K（汚い、臭い、暗い、怖い）の根源であり、児童遊園空間への見通しを遮る**現在の公衆トイレを除却する**。
- ②一方で、地域の多様な利用者に対する4A（安全、安心、明るさ、愛着）の発信を目指して**児童遊園区域を含む当地区全体の再整備を行う**。
- ③当地区全体の再整備にあたっては、南北双方向からの**見通しの良さ、地域への開放、明るさを大事にした「ひろば」的な環境の形成を目指す**こととする。利用者として、シニア世代を含む地域の方々、来訪する多様な世代を対象としていく。（**具体的な内容に関する検討・計画化は次年度**）
- ④地区の再整備に伴い、4Aのイメージを象徴する**新たな公衆トイレを、現在の六本木三丁目児童遊園の区域内において新設する**。（**新設する公衆トイレの位置・機能・規模の検討・計画化は、近隣への配慮、今日的な価値観を踏まえながら次年度**）
- ⑤公衆トイレの新設にあたっては、港区、麻布警察、地元、企業の協力・連携によって取り組む**地区全体の管理運営を大前提として取り組む**こととする。（**具体的な管理運営体制および取組み内容については次年度**）
- ⑥新設する**公衆トイレの利用時間帯は、管理運営体制を踏まえて適切に設定**していくこととする。（**具体的な利用時間帯の検討は次年度**）

2 当日の主なご意見



1 公衆トイレの廃止・存続及び管理運営について

- ◆再整備に向けた工事はまだ先なので、**まずはすぐに着手できる公衆トイレの撤去から行ってはどうか。**
- ◆新設公衆トイレを**行政と地元等が一体となって維持管理・運営することは現実的には非常に難しい**。そのような意味では公衆トイレを無くした方が良い。しかし、一度撤去すると再設置が困難なのであれば、**まずは現在の公衆トイレを一度閉鎖し、改めて公衆トイレの必要性を検討してはどうか。**
- ◆児童遊園を利用する子供のことを考えるのであれば、**公衆トイレはあった方が良く、日中のみ利用可能**にしてはどうか。夜間は子供も使わないため、犯罪を抑止するために閉鎖しても問題はないと思う。
- ◆**夜間利用者のために公衆トイレを夜間に開放しなくても、問題なく街はまわる**と思う。
- ◆公衆トイレを再整備するのであれば**夜間は閉鎖した方が良く**。公衆トイレがあると、死角ができるため、子供の安全性の確保のためにも、**青色防犯パトロールの定期的な巡回等をしてもらえる**と助かる。
- ◆**多様な来街者のことを考えると、公衆トイレがあった方が良く**。また、児童遊園を**多目的に活用できる空間とすれば、公衆トイレも必要**になるので、公衆トイレの存続・廃止は、地区をどう良くしていくかを考える中で論ずるべき。
- ◆夜間の来街者や夜間営業の店舗があることから、**公衆トイレを深夜時間帯に閉鎖するというには同調できない**。しっかりとした公衆トイレを整備し、**適切な維持管理・運営を行えば、安全性は保たれる**。
- ◆再整備後も当面は深夜利用できないようにし、最終的には有料化してはどうか。**有料化すれば、維持管理・運営に民間企業が参入し、公衆トイレ周辺も含めた清掃等を行ってもらえる**かもしれない。それにより公衆トイレは24時間安全に利用でき、街全体も綺麗になる。
- ◆公衆トイレの**維持管理・運営の方法は次年度に検討**することとし、**まずは24時間開放しない公衆トイレを新たに設置することを前提に議論を始めてみてはどうか**。そこからまた絵が描けると思う。
- ◆維持管理・運営に関して次年度以降も継続して検討するのであれば、**公衆トイレの利用時間帯についても次年度以降の検討事項**としてもらいたい。

2 六本木のまちとトイレの必要性について

- ◆周辺地区で開発が行われている中で、当該地区は六本木において非常に重要な場所である。そのため、公衆トイレの有無ではなく、**この地区をどのように整備していくかということ**を考えるべき。
- ◆昔と比べて六本木の**テナント層・客層が悪くなっていることを改善**しなければならない。今の来街者をターゲットにしても街はどんどん悪くなるため、**街として来街者を選べるようなまちづくりを進めることが必要**。環境を改善しなければ良いテナントは来ず、ビルオーナーとしても良い環境づくりができないということを重要視してほしい。
- ◆六本木三丁目だけ良くなれば良いということではなく、**六本木エリア全体を良くすることが必要**。街には様々な来街者がいるが、**少しでも客層を選べるような街にしなければならない**。
- ◆防災の観点から、**災害時に街を徒歩で通過する人達が公衆トイレを利用する可能性がある**ことも考慮してほしい。

3 その他施設等について

- ◆今回の再整備に合わせて、**電線類地中化**も行わなければ、本当の意味で空間の良さは出てこない。
- ◆**防災倉庫**はトイレを一体にするなど、しっかりとしたものを整備した方が良く。

4 進め方について

- ◆今後の議論はすぐに決めるべきことと、後で決めても問題ないことを分けるなど、**検討の時間軸を考慮した上で、一つずつテーマを決めて議論**すべき。
- ◆当該地区の問題に関しては10年以上も議論され続けているため、**問題の原点だけは忘れないでほしい**。

◎ご質問・ご意見等、随時受付けておりますので、下記までご連絡ください。

連絡先：港区麻布地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係（担当：中村・山口・渡辺・近藤）

[TEL] 03-5114-8815 [FAX] 03-3585-3276